

## 安全データシート

作成日:2013年11月19日

1. 化学品  
及び会社情報
- 製品名/化学品の名称 : パイオラン<sup>TM</sup>テープ  
再帰反射テープ RF-30 (各色)  
(各色:WH、GR、RE、YE、BL、YB、WG、WR)
- 会社名 : ダイヤテックス株式会社  
住 所 : 富山県黒部市沓掛2000番地  
担当部門 : 品質保証グループ  
電話番号 : 0765-52-1732  
FAX 番号 : 0765-54-4866  
緊急連絡先:同上

2. 危険・有害性の  
要約
- 危険性:通常の取り扱いでは、危険性はない。  
有害性:高分子量化合物では生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。  
環境影響:特段ないと思われる。  
GHS分類:分類基準に該当しない。

3. 組成、成分  
情報
- 単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学品名	①ポリエチレン樹脂	②アクリル酸アルキルエステル系 共重合体	③アクリル樹脂
CAS.No	9002-88-4	非開示	非開示
化学品名	④ガラスビーズ	⑤着色剤(各色)	
CAS.No	非開示	非開示	

4. 応急措置
- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗眼する。  
取扱い中に粘着剤が  
皮膚に付着した場合 : 水または石鹼水で充分洗浄する。もし、皮膚に炎症  
を生じたときは、医師の手当てを受ける。  
吸入した場合 : 加熱溶融時(焼却時など)に発生する蒸気、ガスを大量に吸入  
した場合は、新鮮な空気の場合に移動し、異常が認められる場  
合は、医師の手当てを受ける。  
飲み込んだ場合 : 大量に飲み込んだ場合は直ちに吐き出させ、異常が認められ  
る場合は、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置
- 消火方法:火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能であれば、速やかに安全な場所に移動させる。  
周囲の設備等に散水して冷却する。  
消火作業の際は、適切な保護具を着用する。  
消 火 剤:噴霧水、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、乾燥砂

6. 漏出時の措置
- くずなどは容器に集め廃棄処分する。

7. 取扱い及び  
 保管上の注意  
 取扱い: 人体、車のボディーなどには直接貼らないこと。  
 家具、壁、ガラスなどに貼る場合は、事前に充分試験をして貼ること。  
 電気絶縁用には使用しないこと。  
 貼る面のホコリ、油分、水分などをよく拭き取ってしっかり押さえ貼りつけること。  
 保管: 直射日光を避け、涼しい所で保管する。

8. 暴露防止  
 及び措置  
 管理濃度: 管理濃度は規定されていない。  
 許容濃度: 日本産業衛生学会、ACGIH ではこの物質の許容濃度を設定していない。  
 設備対策: 特になし。  
 保護具: 必要に応じて着用する。

9. 物理／  
 化学的性質  
 外 観 等: 粘着テープ

化学品名	①ポリエチレン樹脂	②アクリル酸アルキルエステル系 共重合体	③アクリル樹脂
融 点	100～145℃	知見なし	知見なし
比 重	0.90～0.95	知見なし	知見なし
溶 融 度	水に不溶	水に不溶	水に不溶
引 火 点	300℃以上	—	—
化学品名	④ガラスビーズ	⑤着色剤(各色)	
融 点	知見なし	知見なし	
比 重	知見なし	知見なし	
溶 融 度	水に不溶	水に不溶	
引 火 点	—	—	

10. 安定性、反応性  
 安定性: 通常取り扱い状態において安定

11. 有害性情報  
 刺 激 性: 皮膚刺激性 物理的な刺激  
 眼刺激性 物理的な刺激  
 急性毒性: 生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。

12. 環境影響情報  
 分解性、蓄積性: 知見なし

13. 廃棄上の注意  
 焼却炉で焼却する。または、産業廃棄物処理場に埋め立てる。

14. 輸送上の注意  
 容器・包装は破損のないことを確かめ、落下、損傷のないよう積込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令  
 消 防 法: 指定可燃物 合成樹脂類

16. その他情報  
 本データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払って作成しております。しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、引用文献の内容・全ての生体影響の網羅を保証するものではありません。

使用におかれましては、適用法令に従うとともにこの安全データシートを参考に、使用に即した取扱い上の注意を検討確立して下さい。